

唯一の貢献

魚津市立西部中学校 二年 石田 香里

私はインターネットで、ツバルという国が地球温暖化の影響で海の水が上昇し、国全体が海に沈んでしまいそうだということを知った。私は海の水が一メートルくらい上昇しても今までと変わらないと思っていただけ、日本沈没という状況は全く想像できなかった。だから、知らない国のことなんて私には関係ないと思っていた。

だがよく考えると、ツバルは私達先進国の人々がたくさん出した二酸化炭素・メタン・亜酸化窒素などによる温暖化で沈没しようとしている。決して私達に関

係ない事ではなく、むしろ日本のような先進国がこの国を海に沈めてしまったと言っても過言ではない。環境問題を起こした私達はあまり被害を受けないのに、何もしてない国、国民がなぜ被害者になるのだろう。これは絶対おかしい。だから、こんな問題を作り出した私達が責任をもってこの問題を解決していかなければならないと思う。

それでは私達はどうすればいいのだろう。まずどうして環境問題が起きているか考えてみた。昔の人間の生活が自然破壊することはなかった。しかし現在の科学技術の発達は、生活をとっても便利で快適なものにした反面、地球環境に深刻な影響を及ぼすようになった。環境を破壊してきた私達に自ら解決すべき責任があるし、子孫に取り返しのつかない負担を残さないため、今の私達にはこの問題を解決する義務があると思う。

では、何をすればいいのだろう。大きく分けて二つの方法がある。一つは人々の得や損だけでなく環境保護も考え、原因となる物質をできる限り出さないようにする方法である。たとえば車選びでハイブリッドカーを買うようにすること。そしてもう一つは環境を浄化していく方法。たとえば植林によって二酸化炭素を減らしたり、砂漠でもなんとか育つ植物を開発し砂漠化をふせいだりすること。

この二つの方法はいろいろと面倒だ。「そんな面倒くさいちゃー」と言う人もいるだろう。しかし自分のことだけ人間なんて、もう卒業しよう。私達先進国がいい生活を送るために浪費しているエネルギーが環境問題を引き起こし、発展途上国の人々までが被害者となってしまう。科学技術が発展している国が解決していくしかない。それに環境問題は、早く手を打たないと手遅れになってしまうかもしれないからだ。

確かに、一人でできることはたかがしれているかもしれない。しかし何もしなかったら、どんどん環境問題は進んでしまうだけだ。一人一人が責任意識を持ち、この問題にしっかりと向き合い、自分がやれることを考えて行動すれば、いつかは大きな大きな結果となる。だからこそ、どんなに小さいことでもいいから積極的に問題解決に取り組んでいくことが先進国に生きる私達の使命であり、唯一貢献できることであろう。